



平成 19 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社
代 表 者 の
役 職 氏 名 代表取締役社長 古 森 重 隆
(コード番号：4901 東証第一部・大証第一部・名証第一部)
問 合 せ 先
責 任 者 経営企画部 IR 室長 吉 沢 勝
電 話 番 号 03 (6271) 1111

平成 20 年 3 月期中間期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 4 月 27 日に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）中間期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、通期業績予想につきましては、第 2 四半期以降の業績の状況を精査した上で行う予定であるため、現時点では修正しておりません。

記

1. 当中間期の連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	税引前利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 4 月 27 日発表)	1,370,000	87,000	87,000	51,000
今回修正予想(B)	1,400,000	100,000	105,000	62,000
増減額(B-A)	30,000	13,000	18,000	11,000
増減率 (%)	2.2	14.9	20.7	21.6
(ご参考) 前中間期実績	1,352,036	50,779	56,630	23,802

2. 修正の理由

第 2 四半期の主要事業のビジネス環境については、第 1 四半期と同様、概ね好調に推移すると見込んでおります。しかしながら、アルミ、銀をはじめとした主要原材料価格は依然高い水準にあり、今後の動向も予断を許しません。また、為替レートについては第 1 四半期実績よりも若干円高に向うと推定しております。さらに、第 2 四半期における販売費及び一般管理費や研究開発費等の経費は、第 1 四半期に比較して増加するものと見込んでおります。

上記を踏まえ、当中間期連結業績予想について、本年 4 月 27 日に公表しました数値を、上方修正することといたしました。

(注) 本資料に記載されている予想値は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の実績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

以 上